



2020・11・11

第 391 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

九条守りぬくことは世界への日本の責務

憲法公布 74 年に各地で決意

【愛知県／あいち九条の会】 憲法公布 74 周年の 11 月 3 日、あいち九条の会は「憲法を守ろう 2020 愛知県民のつどい」を名古屋市内で開きました。会場には 170 人が参加。ライブ配信も行われました。

天野鎮雄代表世話人が「首相が 2 代続けて民主主義に背き、国民の『なぜ?』に答えない。今こそ怒りの声を上げ、励まし合いながら運動を進めよう」とあいさつ。

九条の会事務局長の小森陽一東京大学名誉教授が「あらためて九条改憲をみすえる」と題して講演。菅政権について、「日本学術会議で任命拒否された 6 氏は、いずれも『戦争する国づくり』に反対した人物。安倍政権を継承し、強力に進めていることが菅政権の本質だ」と厳しく批判し、「この本質を周りの人に訴えていくことが、9 条を守る何よりも大事な運動になる」と話しました。

市民と野党の共同で政治を転換する方向性として、地域に根ざしてきた九条の会運動の重要性を述べ、「総選挙は 1 年以内に必ずある。いつでも選挙で勝利できる市民と野党の協力体制をつくっていかう」と呼びかけました。

かけました

各界からの一言メッセージ②

○渡辺 皓司 (画家)

私は旧制中学 1 年の時、日本の敗戦を迎えた。本土決戦のためと、竹槍でわら人形に突進した愚かしい訓練も無くなった。

その 2 年後に「戦争放棄」を誓った「平和憲法」が施行された。その 9 条を護り抜くこと—それが私たち日本人が世界平和に向けて守り抜く、大きな仕事だろう。

「九条改憲」など、とんでもない恥さらしの愚行も大愚行。

○小泉和子 (昭和のくらし博物館館長)

私は 1933 年生まれですので、集団疎開・強制疎開・横浜大空襲としっかり戦争の惨禍は体験させられました。アメリカと日本の軍需産業を儲けさせる目的で、なぜ日本人全体が惨憺たる犠牲にならなくてはいけないのか、不条理極まりない。

小森氏の講演後、あいち市民アクション共同代表の中谷雄二弁護士、あいち九条の会代表世話人の小林武沖縄大学客員両教授がオンラインで対談。講演と対談は「Y o

uTube」で公開されます。

運動があるから9条は引き継がれる

【福岡県／九条の会福岡県連絡会】

九条の会福岡県連絡会は3日、福岡市で「9条改憲NO！安倍政治の継承許さない福岡県民集会」を400人の参加で開きました。

石村善治代表世話人（福岡大学名誉教授、憲法学）は、日本学術会議の任命拒否問題について、歴史への反省から憲法23条は学問の自由を制約なく認めており、この問題は単に学者に対する圧迫ではなく憲法全体への攻撃だと強調。「力を合わせ憲法を守っていく」と呼びかけました。福岡教育大学の谷本純一准教授が講演しました。

集会初参加の女性（40）は「たくさんの参加者に驚いた。参加者の熱い思いにふれ、活動する人がいるから憲法の平和主義が引き継がれていくと感じた」と話しました。

日本共産党の田村貴昭衆院議員が安倍政治を継承、改憲に前のめり、任命拒否問題で説明を拒む菅政権を批判、社民党県連合の村山弘行幹事長が、立憲野党と市民の連帯のなかで自公政権を倒すまで共にたたかおう、とあいさつしました。

6人の任命拒否撤回は譲れない

【京都府／憲法9条京都の会・全国市民アクション京都】 3日、憲法をいかに、いのちと暮らしを本気で守る政治実現を呼びかける京都の憲法集会が、円山公園音楽堂で開かれました。コロナ対策のため会場は880人までに制限し、オンラインで同時中継しました。

「憲法9条京都の会」と「安倍9条改憲

NO！全国市民アクション・京都」の共催。

集会後、参加者らは京都市役所前までデモ行進。「9条壊すな」などのプラカードを掲げた行進は沿道から注目を集めました。

細胞生物学者で歌人の永田和宏氏が「コロナ危機から見える社会と憲法」と題して講演。菅義偉政権による学術会議への人事介入を厳しく批判し、「この問題は、社会全体に関わる問題。任命されなかった6人の任命を譲らず、妥協せず、決して忘れないことが大事」と強調しました。

立憲民主党、日本共産党、社民党、新社会党、緑の党の各党代表があいさつ。

任命拒否者に次の選挙で審判を

【香川県／9条の会かがわ・香川革新懇】

9条の会かがわと香川革新懇は6日、高松市内で日本学術会議任命拒否に対する抗議集会を開きました。手作りのプラカードや横断幕を手に50人が抗議の声を上げました。

立憲民主党県連の高野和憲代表代行、日本共産党の白川よう子衆院四国ブロック比例候補、新社会党の井角操県本部委員長、無所属の木村篤史県議と植田真紀高松市議、香川大学で多くの賛同者を寄せて抗議の声明を出した有志の一人・寺尾徹教授がリレートークしました。

各人は「今後、みんなの自由に影響していく問題」「菅総理は説明責任を全く果たせていない」と話し「次の総選挙で自民党に代わる国会議員を」と訴えました。

寺尾氏は「私たちはだれかに村度（そんたく）して研究はできない。早く6人の任命を実現させたい」と力を込めました。

通りがかりに訴えを聞いた男性（32）は

「菅さんの答弁は説明がつかない。許されない」と話しました。

「武力で平和語れない」を確認

【佐賀県／9条の会佐賀県連絡会】

9条の会佐賀県連絡会は10月28日、佐賀市内で学習会を開きました。

本多俊之弁護士は9条の会での2年間の学習を振り返り、「探れば探るほど日本国憲法の素晴らしさが見えてきた」と話しました。ローマ・カトリック教会のフランシスコ教皇が広島・長崎での演説で述べた『「武力で平和は語れない。人間同士の信頼がなければいけない』という言葉は、憲法9条の真髄に迫っている」と語りました。

東京都から参加した永瀬淳夫さん（74）は「菅政権は改憲論議ありきで話を進めている」と批判しました。

際限のない軍拡をやめよ

【岐阜県／岐阜・九条の会】 岐阜市で10月29日夕、岐阜・九条の会による268回目の「9の日」・宣伝が行われました。

世話人の林邦男さんは、菅首相の学術会議の人事介入を批判。「学問の自由を規制する独裁政治こそ戦争に導くもの。敵基地攻撃能力強化などの軍拡をやめ、コロナ禍で苦しむ国民に寄りそい、軍事費を削ってコロナ対策にまわせ」と訴えました。

参加者は、「戦争反対」などのプラカードを掲げ、「こんにちは9条の会です。戦争しない国にするために活動しています」と通行人に呼びかけ、「11月3日は憲法公布から74年」と書かれたビラを配布しました。

信号待ちの高校生や勤め帰りの人たちが

ビラを受け取り、真剣に読んでいました。

コロナ公演会開催で会活性化へ

【東京都練馬区／ねりま9条の会】

ねりま9条の会は10月22日練馬文化センターで「松元ヒロ・伊藤千尋が語る新型コロナと憲法の大切さ」公演会を開催しました。今年の2月に企画しながら、6月開催が7月になり、さらに延期しての10月開催となりました。チケットは買うが、コロナが怖い、夜は足元が悪いと参加を渋る人が多く、開催を止めようかという話が何度も出て、コロナ対策に神経を使いました。しかし練馬ばかりでなく遠くからも沢山参加されて408名、定員の約7割と多からず少なからず、申し込みを断らずに済みました。

松元ヒロさんの公演は最初から最後まで爆笑、伊藤千尋さんの初めて聞くウルグアイのムヒカ大統領の話、世界は素晴らしい、日本はもっともっと自立し諸国との連帯が必要、力をもらえたなどと、280通の感想が寄せられました。ヒロさんや千尋さんからもお礼の言葉が寄せられました。

新型コロナで出歩く機会が減り、こうした話には人は飢えていることを実感しました。

コロナ対策では検温、消毒、マスク、座席の距離を置く、換気、入退場、トイレ出口の消毒など、アルコール漬け。

この成功はねりま九条の会だけでなく、23の地域の9条の会、土建練馬支部、医療生協、東京芸術座、憲法骨抜きNOねりま、ぞう列車合唱団の共催、賛同のおかげであり、プログラムには初めて天理教と不動産屋さんの名刺広告が載りました。

（ねりま9条の会事務局長 大柳武彦）

核兵器禁止条約に参加めざそう

【青森県／青森県九条の会】

青森県九条の会は10月28日、新署名「改憲NO！改憲発議に反対する全国緊急署名」を広げる街頭宣伝行動を、青森市の新町商店街で繰り広げました。

通行人が通るたびに「憲法9条は世界の宝です」「署名への賛同をお願いします」など声をかけ、コツコツ署名を集めました。

署名をした女性（70代）は、来年の1月に核兵器廃止条約が発効することに触れ、「日本は被爆国なのに、どうして参加しないんだべなあ。政府が米国にモノ言えるようにならないとダメだね」と語りました。

呼びかけに応え署名した女性（47）は、子育て中だと述べ、力を込め訴えました。

「私たちの代で改憲したら、被害を受けるのは子どもたちの世代です。そんなことぜったいできません」

姿勢正しく歩いてきた和服の女性（87）は、署名の内容に納得して署名しました。趣味のフラダンスを披露しながら「平和があるから踊りもできる。この署名大事だよ。がんばって」と激励していきました。

「九条の碑」 建立めざして

【東京都足立区／千住九条の会】

11月3日、「九条の碑を建立する会」発足のつどいを開催しました。コロナ対策のため参加者限定でしたが92名の参加で熱気あるスタートとなりました。

伊藤千尋氏の講演では、国内外の「九条の碑」を紹介してくれました。スペインの島テルデ市にある「九条の碑」は、市が空

港と市を結ぶ道路を作った際、空き地がで、当時の市長はここを市民が平和を考えるための広場にしようと考え、その広場の名前を第二次世界大戦で最も悲惨な目に遭った「ヒロシマ・ナガサキ」広場と決め、次に市民が平和を考えるきっかけになるものをおきたいと、日本の憲法第九条の記念碑を思いついたとのこと。これからの世界を平和にする原点は日本の憲法9条だと確信し記念碑の建設を考え、市議会に提案すると満場一致で賛成だったとのこと。

スペインやトルコ、日本各地に存在する「九条の碑」をぜひ千住に、東京にも建立しようと呼びかけ、参加者一同、気持ちがひとつになったつどいでした。東京で初めての「九条の碑」建立の実現に向け皆さんと共に頑張りたいと思います。

（千住九条の会 中田 順子）

憲法を生かしていくことこそ希望がある

【和歌山県／憲法9条を守る伊都・橋本連絡会】 市民団体「憲法9条を守る伊都・橋本連絡会」が17日、九度山憲町人郷の町立文化スポーツセンターで、第12回9条平和まつりを開いた。約50人が集まった。

連絡会の植西祥司・共同代表はあいさつで、安倍晋三政権の7年8ヵ月を「21世紀型の富国強兵路線だった」と批判。「憲法を尊重して生活に生かしていくことに希望がある」と語った。

参加者はその後、憲法共同センター（東京）が作ったDVD「9条改憲って何？」「憲法と自衛隊」を鑑賞し、9条に自衛隊を明記する改憲案や、立憲主義の考え方について学んだ。（朝日和歌山版10月19日）